

喜界町 図書館だより

〒891-6201 喜界町大字赤連小字樋口前30番地

6月号



【通算 第228号】
2015（平成27）年6月1日発行

TEL: 0997-65-0962
FAX: 0997-65-2523
e-mail: kikailib@town.kikai.lg.jp

《多くの利用者で賑わった第13回図書館フェスタ！》

☆ 5月2日（土）は、図書館フェスタが開催され多くの町民が図書館に来館しました。

さて、今回は「子ども読書週間」にちなんで、大人から子どもまで本や資料などの知識に触れる機会を提供するというで第13回図書館フェスタが開催されました。

◎ 古本市（本のリサイクル）10:00～18:00

開館前から数名の利用者が待つほどの盛況ぶりで、館内は利用者でいっぱいになりました。また、4月28日から開催している喜界高等学校美術部の絵画展は高校生の素晴らしい絵をたくさんの方々が鑑賞していました。

◎ 講演「戦後70周年に思う～喜界島での太平洋戦争について」10:30～11:30

中里集落区長の野間昭夫さんが喜界島が初めて空襲を受けた様子や小野津で起こった震洋艇格納壕落盤事故、模擬飛行場に降りた特攻機、知覧より出撃し喜界島飛行場に着陸した3機の特攻機のお話などをされ、約50余名の参加者は真剣に耳を傾けていました。

◎ 午後の部「おはなしの森・大型絵本、パネルシアター、映画会」13:30～16:00

子ども達をメインに話し会や映画会を開催しました。喜界高等学校1年生の安原 雅さん、黒田 紘菜さんが集まった子ども達の前で「こいのぼり」を題材にしたパネルシアターを実演しました。また、喜界小学校の柳園拓也先生がギターで「サトウキビ畑の唄」の弾き語りを実演しました。子ども達は読み聞かせや唄を楽しそうに聞いていました。

『カトク・ナベカナ』物語 ～②～

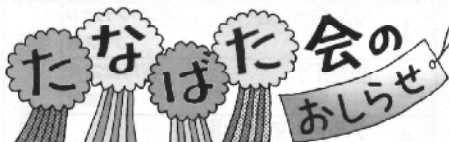
カトク浜さきに 生えるイジュ柱 （嘉徳の家の庭先に、家の柱として立てられているイジュという木の柱）
はえさきやわからぬ 天にかえろー （育ったところはわからないが もとにもどれ）

これは、大島民謡の「カトク・ナベカナ節」の歌詞であるが、この「カトク」というのは地名で、即ち大島郡瀬戸内町の「嘉徳」か龍郷町の「嘉徳」のことで、唄の主人公である「ナベカナ」は、そのどちらかの出身であると言く人もいるが、本町塩道出身の三井喜禎氏の著「喜界島古今物語」の中で「カトク」は地名ではなく主人公である「ナベカナ」の父親の名前だと述べておられる。

昔（藩政時代）は、平民には姓がなかったので、同じ名前の方が何名かいる場合は、それを区別するために、名前の頭に父親の名前をつけて呼んでいた。だから「カトクナベカナ」というのは、「嘉徳という人の娘のナベ加那」という意味だと、説明されている。（～つづく～） （文責： 登山 典壽）

引用文献：喜界島古今物語 三井喜禎 著、志戸桶誌 志戸桶誌編集委員会

お知らせ



日時：平成27年7月4日（土）

13:30～15:00

場所：喜界町図書館2階

貸出カードを作いませんか

☆ 0歳児より作れます

☆ 図書・紙芝居など 10冊 借りられます

13:30～14:00 セタ飾り作り
（ふきながし）

14:00～14:20 おはなし

14:20～15:00 映画鑑賞

「がんばれスイミー」



募集中！

☆ 読み聞かせのボランティアを募集しています。

興味のある方は、図書館へ



ブックスタート
図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけ作りのお手伝い。

★ 受け取りは0歳児のみ。

新

着

図

書



《おとなの本》



《こどもの本》



★『ヒア・カムズ・ザ・サン』 小路幸也著 集英社
老舗古書店(東京バンドワゴン)を営む堀田家に幽霊騒ぎが持ちあがる。騒動の意外な真相とは？

★『過ぎ去りし王国の城』 宮部みゆき著 KADOKAWA
ヨーロッパの古城のデッサンを拾った中三の真は、絵の中にアバターを描きこむと、その世界に入れることを知る。

★『山月庵茶会記』 葉室 麟著 講談社
かつて政争に破れ、藩を出た柏木靱負が高名な茶人になって帰ってきた。山裾の庵に隠遁した靱負は、抗争の最中に喪った妻の死の真実を知るため、今日も庵に客を招く…

★『若 冲』 澤田 瞳子著 文藝春秋
世に二つとない絵を描く画人、その名は伊藤若冲。池大雅、円山応挙、与謝蕪村、谷文晁、市川君圭…絵師たちの運命が京の都で交錯する。

★『森は知っている』 吉田修一著 幻冬舎
17歳には、まだなにも分からない。過酷な運命に翻弄されながらも、大空へと飛翔した少年の冒険が、今始まる。

★『DIYで暮らすインテリアの本ー小屋女子計画』 日本ヴォーグ社
★『森のおはぎとあんこのおやつ』 森百合子著 家の光協会
★『7本指のピアニスト』 西川 悟平著 朝日新聞出版
★『暮らし上手の毎日パン』 榎出版社
★『明日の色』 新野 剛志著 講談社
★『偽 装』 笹本 稜平著 双葉社

★『さんかんびにおめでとう！』 くすのきしげのり作 講談社
今日は初めての参観日。授業がはじまったのに、なかなかお父さんが来てくれません。あすかちゃんは、期待と不安で、何度も教室の後ろを振り返りますが…。

★『鬼のおっぺけぼー おんみょうじ』 夢枕 漢作 講談社
羅城門へむかう牛車の前を歩くのは、まだ子どもの陰陽師、安倍清明。そこへ、もやもや、雲の中から鬼の群れがやってきて…。

★『もりのホテル』 ふくざわゆみこ絵 学研教育出版
あらいぐま一家の「もりのホテル」は、大人気。どんなお客様にも、ぴったりのお部屋をご用意します。へびさんやくまさんの泊まるのは、どんなお部屋かな？

★『おひさまへんにブルー』 花形みつる著 国土社
究極のいじめられっ子、拓実。クラスが変わっても転校してもずっと暴力の標的になってきた拓実を救ったのは、汗のしみこんだ古い麦わら帽子みたいな匂いのする少年だった…。

★『夏目漱石、読んじゃえば？』 奥泉光著 河出書房新社
★『いのちのパレード』 八束澄子著 講談社
★『えはん障害者権利条約』 ふじいかつのり作 汐文社
★『山田県立山田小学校 5』 山田マテ作 あかね書房
★『タンポポはたんぽぽ』 おくはらゆめ作 大日本図書



4月のベストリーダーズ

一般図書	1 精鋭	今野 敏/著 朝日新聞出版	児童図書	1 うんちがぼとん	アノナ・フランケル アリス館	雑誌	1 NHKすてきにハンドメイド	日本放送出版協会
	2 バカが隣に住んでいる	寿谷 誠彦/著 扶桑社		2 邪宗門	芥川龍之介 講談社		2 CHANTO	主婦と生活社
	3 フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・L・スコット 大和書房		3 ウルトラマン大図鑑	ボブラ社		3 婦人公論	中央公論社



日	月	火	水	木	金	土
5/31	1	2	3	4	5	6
	休館日		第1回図書 館協議会	資料教 諭日		おはなし会
7	8	9	10	11	12	13
	休館日				子育て支援 来館日	おはなし会
14	15	16	17	18	19	20
	休館日		早町小学校 団体貸出 (1~3年生)	早町小学校 団体貸出 (4~6年生)		おはなし会
21	22	23	24	25	26	27
	休館日					おはなし会
28	29	30	7/1	7/2	7/3	7/4
	休館日			資料休 館日		七夕 おはなし会

※ ■ は、休館日です(毎週月曜日・第1木曜日)
・開館時間 午前10時~午後6時

おはなし会・ミニ映画
毎週土曜日 午後2時~2時40分

4月統計 (開館日数25日)	貸出冊数	H27年度合計
	3,102 冊	3,102 冊
	来館者数	H27年度合計
	1,320 名	1,320 名